

『歡喜に至れ！』 ～ベートーヴェン〈第九〉による～の
上演に当たり 《ご挨拶とお願い》

昨秋、友人との会話の中であまりにも有名な此の曲が、リストにより
ピアノ曲として編曲されているということを知りました。

ベートーヴェンの〈第九〉を下敷きにして
新しい舞台作品を創りたい・・・

無謀ともいえるこの企画に興味と情熱をもって参加をして下さった
アーティストの皆さん、いずれも静岡県出身、またはゆかりの我が国
トップクラスの方々です。加えて、県立劇団 SPAC の芸術総監督、
世界の宮城聰先生が演出を担当して下さいます。国内外でも例をみな
いこの舞台が <東アジア文化都市 2023 静岡県>のクライマックス
公演という重大なポジションに位置付けられ、不肖 佐藤典子の 75th
舞踊生活の集大成として上演出来ます事は、この上ない名誉です。
お力添え賜りました皆様さまに、あつく御礼を申し上げ、重ねての
ご支援をお願い申し上げます。 企画・監修

佐藤典子